

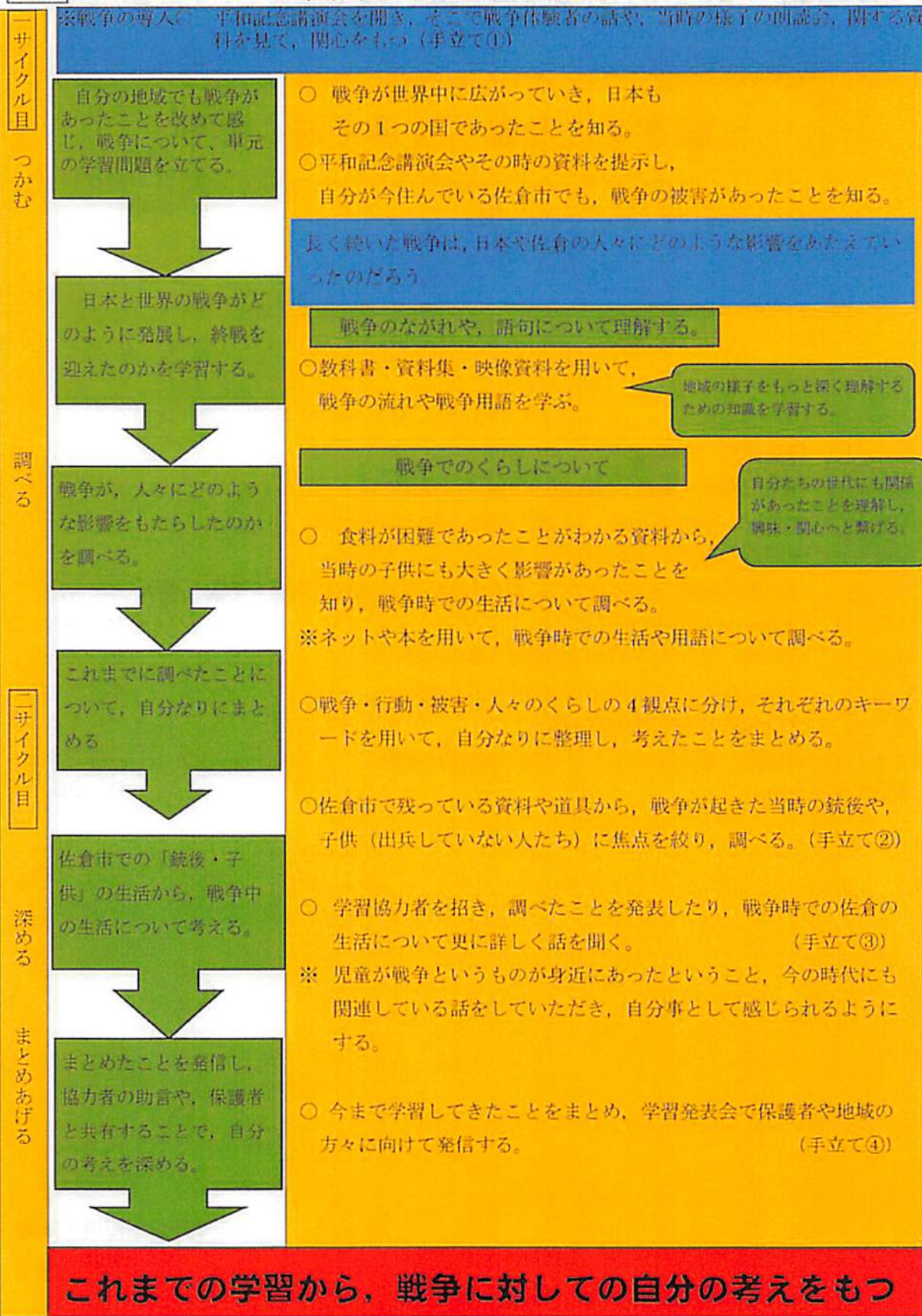
主体的・対話的な学習を通して，歴史的事象に対する自分の考えをもつことができる児童の育成
～戦争単元を扱う学習を通して～

資料編

資料1	戦争単元 学習のアウトライン	P. 1
資料2	児童の実態 事前・毎時間の授業ごとのアンケート	P. 2
資料3	佐倉市 広報課主催 平和祈念講話と映画会の内容	P. 3
資料4	平和祈念講話と映画会から 知りたいことの記述	P. 4
資料5	平和祈念講話と映画会での，戦争教材の具体物やパネル・写真・資料	P. 5～
資料6	授業での児童の記述	P. 6～
資料7	佐倉市での人々のくらしの資料（銃後・子供）	P. 7～
資料8	学習協力者との対話的な学習をしての感想	P. 11～
資料9	学習発表会時の保護者の感想	P. 12
資料10	仮説1，仮説2の手立てにおける児童の変容	P. 13～
	参考文献・資料	P. 20

資料1

戦争単元 学習のアウトライン



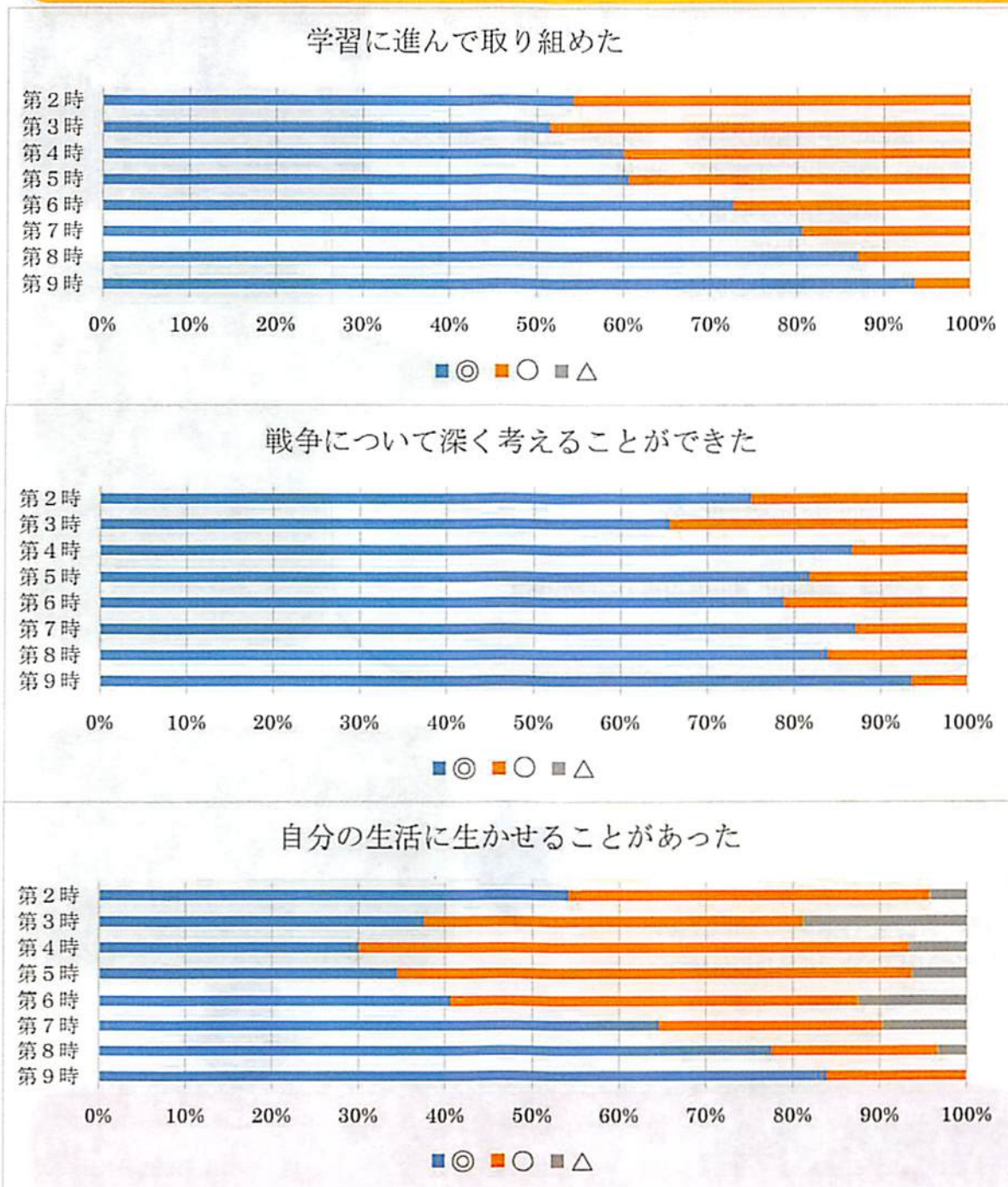
これまでの学習から、戦争に対しての自分の考えをもつ

資料2

＜児童の実態＞ 事前・毎時間の授業ごとのアンケート

佐倉について知っていることはなんですか。

- ・無回答 11
- ・佐藤泰然 5名
- ・津田梅子 3名
- ・堀田正睦
- ・佐倉城
- ・佐倉学
- ・城下町
- ・医学が発展していた
- ・家がたくさんある
- ・社会に出る人物がいる
- ・有名人がいる。
- ・歴史人物がいる
- ・いなか
- ・おばあちゃんが多い
- ・いいところ



※ 第1時は平和記念講和と映画会のためなし、第6時までが第一サイクル（全体の学習）、第7時からが第2サイクル（佐倉市の銃後と子供の様子学習）となっている

資料3 佐倉市 広報課主催 平和祈念講和と映画会の内容

1. 映画会「1つの花」

※児童は、小学校4年生のときに、国語科の授業で「1つの花」の学習をしている。

2. 「戦争中の子供達の生活」 講和者 望月 三重子さん

内容 国民学校（小学校）の様子
兵隊さんのお見送り
服装について
竹やり訓練について
食べものについて
女学校（中学校）生徒になって
戦闘機に襲われたこと
空襲
終戦の日について
子供達へのメッセージ

3. 朗読劇 戦争中に起きた東京大空襲の様子



児童にとって関連のある題材が主となっており、戦争に対してのイメージを更に膨らませ、その後の学習への意欲の継続に繋がっていった。

「戦争」に対してイメージ

- ・悲惨 ・よくない ・こわい ・大変
- ・苦勞 ・危険
- ・たくさんの人がなくなる
- ・戦争のために行動する。・殺し合い
- ・関係のない人まで殺されてしまう
- ・かわいそう ・武器 ・悲しい

- ・戦争に対して具体的なイメージをもつことができた。
- ・戦争に対しての疑問や自分なりの思いをもつことができた。

その後の戦争の学習の素地をもって、取り組めることができた。

資料4

平和祈念講話と映画会から、知りたいことの記述

いつから戦争が起きたのか、年月具体的に
一家に引き継いだところはあるのか。
食べ物は何もなかったのか。
戦争を体験した人の気持ち。

どうして戦争をやめたのか
戦争のひどく
なせ日本はすぐに戦争をやめたのか
戦争を止めた方々の努力やエピソードは
なのか。戦争を止めてやめたのか。

・戦争を説明している時、経験者の人の
生活の苦しい。
・戦争で、どなたの子供が死んでしまったのか

どれだけの犠牲者が亡くなったのか。
戦争はなぜ起きたのか
命は領地をのこすには必要です。

なぜ戦争をしようと思ったのか
話しあわなかったのか

戦争を止めようとした人は
その口をくろくしにしていたのか

戦争の被害に合った方々思い
・戦後の様子をどうに
なっているのか。

戦争中ほとんどの家族で
死んだのか
戦争中の生活、戦争中の家
戦争中の様子のつくり

資料5 平和祈念講話と映画会での、戦争教材での具体物や、パネル・写真、資料)

※戦争がより身近に感じられるように実際にその後の授業でも具体物や、資料として活用した



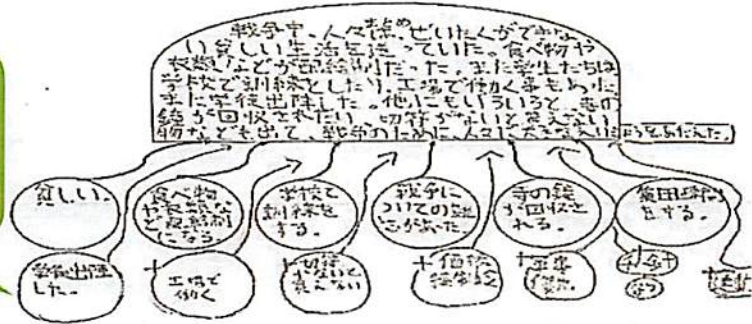


資料6

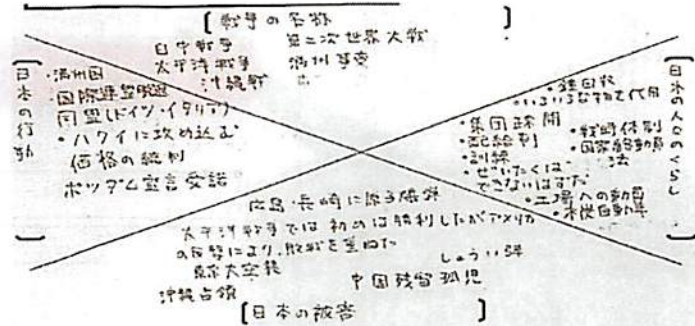
授業での児童の記述

<第5時~6時のまとめにかけて>

戦争中の人々の暮らしをキーワードとして整理して、まとめている。



戦争の名称を主に使って、日本の行動や被害と関連付けてわかったことをまとめている。



Xチャートで整理したキーワードを使って、わかったことや考えたことをまとめている。

戦争の用語や、前時の人々の暮らしの学習を関連させて、自分なりの言葉でまとめている

日本は 満州事変で満州を独立国とし、日本が支配した。国際連盟に脱退し、そのころ日中戦争となり、戦地が中国全土となり、そのころヨーロッパではドイツがフランスの国を侵略し、反逆者イギリス、フランスと戦争になりました。これが第二次世界大戦の始まりです。日本は、ハワイのアメリカ軍基地を半島のイギリス軍を攻撃し、アメリカ、イギリスなどの国と戦争となり、太平洋戦争となりました。1944年に、アメリカの飛行機が日本に爆弾を落とすようになり、軍事施設や工場だけでなく住宅地にも落とすようになり、沖縄にも爆弾が落ちて空襲されました。8月6日には広島に原子爆弾が落とされ、8月9日には長崎に原子爆弾が落とされ、戦争は終わりました。

戦時下の暮らしは、配給制になり、人々は生活が苦しく、労働不足で、女生徒も働かざるを得なくなった。そして、学校で、古、軍隊式ものになり、たくさんの方が戦争にかかりかかっている。言葉も戦争の言葉しかなくなりました。集団疎開もあり、生活が厳しくなっている。食糧も不足する。竹のコンドセルになり、食糧も不足する。

日本は、満州事変で満州を独立国とし、日本が支配した。国際連盟には認められず、脱退した。1937年に日本と中国の戦争、日中戦争がはじまる。だが日本は負ける。そして人々のくらしも大きく変わった。集団疎開がはじまる。配給制もはじまり、食糧不足がはじまる。そして、空襲にアメリカ軍が上陸し、60万人のうち1万人がなくなる。8月6日は広島、9日は長崎に原子爆弾が投下。そして、ホッラム宣言をしようとした。15年の長い戦争は終わった。天皇の死。戦時下の暮らしは、戦争の言葉ばかりで、人々のくらしも、

まとめ ①
 ・石油が不足し、木炭自動車を作られた。
 ・学校で訓練をする。
 ・食糧が不足し、竹のコンドセルを作られた。
 ・女生徒も働くほど大変な時代。
 ・くらしにも、戦争での入りきりで、食糧も

戦争の名称は、満州事変がはじまり、太平洋戦争などがあり、日本は、人々のくらしは、戦争で変わった。その時、行動は、同盟国(ドイツ・イタリア)の戦争(日中戦争)の戦争中の人々のくらしは、戦争の始まりに近づいた。食糧も不足する。そして、戦争中のくらしは、食糧不足がはじまり、各地が焼け野原になり、沖縄戦は、多くの人が戦争で亡くなりました。そして、1945年8月15日、日本は降参し、ホッラム宣言(1941年)の条約で、戦争は、終わりました。

苦しかった戦時中の思い出

田中 幸

戦時中、父は海軍で出陣し、母は一人で家族を養育された。...

戦時中、父は海軍で出陣し、母は一人で家族を養育された。...

カラスのスキヤキ

田村昭子

昭和15年、父は海軍で出陣し、母は一人で家族を養育された。...

昭和15年、父は海軍で出陣し、母は一人で家族を養育された。...

【学校の記憶】

1) 戦時中の和田小学校の様子

戦争は様々な形で学校教育にも影響を及ぼします。昭和19年に改訂された色...



和田小学校校舎と校門

昭和19年春頃から校門が閉鎖になると、どんぐりといふごとく、島の底むきなどの作業が増えて行き、戦時中...

なほ、戦時中も教科書の無断り作業があり、その後に発行された新しい教科書も、無断り作業の品から、筆色割りの異なる教科書であったそうです。

疑問① 児童の思い出(その2)

戦時中、児童の思い出は、戦時下の人の物事は不足し、おぼろげな...



米穀訓練(上)

(前・中・米大出陣兵)

米穀訓練(下)

米穀訓練の様子。児童は軍用靴を履き、訓練を受けていた。...

疑問② 離れてきた児童の思い出

昭和19年、小学校5年生のとき離れてきました。母は大東物産が...

資料8

学習協力者との対話的な学習をしての感想

兵隊さんだけでなく、戦後の人たちなどの
多くの支えがっている人だなと思ひました。
子供ながらみんない兵隊さんになりたけりという
当時の思いは、父さから伝へてきた。
ぼくが父の立場だったら絶対に行きたく
ありません。だからこの時代は生まれた人がか
わらうてえ。ぼくは今生きていることが、
本報(う)をしいてえ。

更なる疑問や考えをもっている。

戦争が自分の仕立位置とも深く繋が
っていることを感じた。

8月15日の終戦から下からみんなと出会えた。
もし、終戦が少し遅かったら、下からみんなと出会えなかった
かもしれない。
下から1つ1つ出会いを大切に生きていきたい。
戦争によって命を奪った人の分りでは、
生きていきたいと思ひた。
この世から死にたいと思ひる人が
いなくなるといいように...

感想 (99) (100) (101) (102) (103) (104) (105) (106) (107) (108) (109) (110) (111) (112) (113) (114) (115) (116) (117) (118) (119) (120) (121) (122) (123) (124) (125) (126) (127) (128) (129) (130) (131) (132) (133) (134) (135) (136) (137) (138) (139) (140) (141) (142) (143) (144) (145) (146) (147) (148) (149) (150) (151) (152) (153) (154) (155) (156) (157) (158) (159) (160) (161) (162) (163) (164) (165) (166) (167) (168) (169) (170) (171) (172) (173) (174) (175) (176) (177) (178) (179) (180) (181) (182) (183) (184) (185) (186) (187) (188) (189) (190) (191) (192) (193) (194) (195) (196) (197) (198) (199) (200) (201) (202) (203) (204) (205) (206) (207) (208) (209) (210) (211) (212) (213) (214) (215) (216) (217) (218) (219) (220) (221) (222) (223) (224) (225) (226) (227) (228) (229) (230) (231) (232) (233) (234) (235) (236) (237) (238) (239) (240) (241) (242) (243) (244) (245) (246) (247) (248) (249) (250) (251) (252) (253) (254) (255) (256) (257) (258) (259) (260) (261) (262) (263) (264) (265) (266) (267) (268) (269) (270) (271) (272) (273) (274) (275) (276) (277) (278) (279) (280) (281) (282) (283) (284) (285) (286) (287) (288) (289) (290) (291) (292) (293) (294) (295) (296) (297) (298) (299) (300) (301) (302) (303) (304) (305) (306) (307) (308) (309) (310) (311) (312) (313) (314) (315) (316) (317) (318) (319) (320) (321) (322) (323) (324) (325) (326) (327) (328) (329) (330) (331) (332) (333) (334) (335) (336) (337) (338) (339) (340) (341) (342) (343) (344) (345) (346) (347) (348) (349) (350) (351) (352) (353) (354) (355) (356) (357) (358) (359) (360) (361) (362) (363) (364) (365) (366) (367) (368) (369) (370) (371) (372) (373) (374) (375) (376) (377) (378) (379) (380) (381) (382) (383) (384) (385) (386) (387) (388) (389) (390) (391) (392) (393) (394) (395) (396) (397) (398) (399) (400) (401) (402) (403) (404) (405) (406) (407) (408) (409) (410) (411) (412) (413) (414) (415) (416) (417) (418) (419) (420) (421) (422) (423) (424) (425) (426) (427) (428) (429) (430) (431) (432) (433) (434) (435) (436) (437) (438) (439) (440) (441) (442) (443) (444) (445) (446) (447) (448) (449) (450) (451) (452) (453) (454) (455) (456) (457) (458) (459) (460) (461) (462) (463) (464) (465) (466) (467) (468) (469) (470) (471) (472) (473) (474) (475) (476) (477) (478) (479) (480) (481) (482) (483) (484) (485) (486) (487) (488) (489) (490) (491) (492) (493) (494) (495) (496) (497) (498) (499) (500) (501) (502) (503) (504) (505) (506) (507) (508) (509) (510) (511) (512) (513) (514) (515) (516) (517) (518) (519) (520) (521) (522) (523) (524) (525) (526) (527) (528) (529) (530) (531) (532) (533) (534) (535) (536) (537) (538) (539) (540) (541) (542) (543) (544) (545) (546) (547) (548) (549) (550) (551) (552) (553) (554) (555) (556) (557) (558) (559) (560) (561) (562) (563) (564) (565) (566) (567) (568) (569) (570) (571) (572) (573) (574) (575) (576) (577) (578) (579) (580) (581) (582) (583) (584) (585) (586) (587) (588) (589) (590) (591) (592) (593) (594) (595) (596) (597) (598) (599) (600) (601) (602) (603) (604) (605) (606) (607) (608) (609) (610) (611) (612) (613) (614) (615) (616) (617) (618) (619) (620) (621) (622) (623) (624) (625) (626) (627) (628) (629) (630) (631) (632) (633) (634) (635) (636) (637) (638) (639) (640) (641) (642) (643) (644) (645) (646) (647) (648) (649) (650) (651) (652) (653) (654) (655) (656) (657) (658) (659) (660) (661) (662) (663) (664) (665) (666) (667) (668) (669) (670) (671) (672) (673) (674) (675) (676) (677) (678) (679) (680) (681) (682) (683) (684) (685) (686) (687) (688) (689) (690) (691) (692) (693) (694) (695) (696) (697) (698) (699) (700) (701) (702) (703) (704) (705) (706) (707) (708) (709) (710) (711) (712) (713) (714) (715) (716) (717) (718) (719) (720) (721) (722) (723) (724) (725) (726) (727) (728) (729) (730) (731) (732) (733) (734) (735) (736) (737) (738) (739) (740) (741) (742) (743) (744) (745) (746) (747) (748) (749) (750) (751) (752) (753) (754) (755) (756) (757) (758) (759) (760) (761) (762) (763) (764) (765) (766) (767) (768) (769) (770) (771) (772) (773) (774) (775) (776) (777) (778) (779) (780) (781) (782) (783) (784) (785) (786) (787) (788) (789) (790) (791) (792) (793) (794) (795) (796) (797) (798) (799) (800) (801) (802) (803) (804) (805) (806) (807) (808) (809) (810) (811) (812) (813) (814) (815) (816) (817) (818) (819) (820) (821) (822) (823) (824) (825) (826) (827) (828) (829) (830) (831) (832) (833) (834) (835) (836) (837) (838) (839) (840) (841) (842) (843) (844) (845) (846) (847) (848) (849) (850) (851) (852) (853) (854) (855) (856) (857) (858) (859) (860) (861) (862) (863) (864) (865) (866) (867) (868) (869) (870) (871) (872) (873) (874) (875) (876) (877) (878) (879) (880) (881) (882) (883) (884) (885) (886) (887) (888) (889) (890) (891) (892) (893) (894) (895) (896) (897) (898) (899) (900) (901) (902) (903) (904) (905) (906) (907) (908) (909) (910) (911) (912) (913) (914) (915) (916) (917) (918) (919) (920) (921) (922) (923) (924) (925) (926) (927) (928) (929) (930) (931) (932) (933) (934) (935) (936) (937) (938) (939) (940) (941) (942) (943) (944) (945) (946) (947) (948) (949) (950) (951) (952) (953) (954) (955) (956) (957) (958) (959) (960) (961) (962) (963) (964) (965) (966) (967) (968) (969) (970) (971) (972) (973) (974) (975) (976) (977) (978) (979) (980) (981) (982) (983) (984) (985) (986) (987) (988) (989) (990) (991) (992) (993) (994) (995) (996) (997) (998) (999) (1000)

終戦したことに対する思いや、それ
によって感じたことをまとめている。

戦争ががんばったひとがいたからこ
そ、今の幸せがあると感じている。

佐倉の戦争かえ。と書いて
いた5今の自分もいないし、親
もいなか。たと一番ひっくり
しました。戦争のときにみんなか
かんは、てくれたから医学も進んで今は、幸せなくら
い。てうと思ひた。

お話を、自分が知る以上に、よくわ
く、おしえていた。たけてよかった。ま
ぼくは、次の世代におしえていけたら
いいなと思ひました。

今も、問題と今は、い。はいわるけ
れど、戦争に全らないうようにして
ほしいです。世帯が、仲良く、

そして、もう二度と
戦争をしない世の中
なるとほしいと思ひました。

そして助け合いをして、
みんなが平和に暮らせると
いいと思ひました。

聞いたことや感じたことを次の世代
につなげたい。平和への願い。

現在を考えたから、みんなが平和
になるようにしていこうとする。

資料9

学習発表会時の保護者の感想

今の平和の時代の時代だからこそ子供たちは今回の学習を通じて
 実感を持って感じることをしたいと思います。
 自分自身も改めて平和の大切さに気づかせる
 子供たちの毎日笑顔をこの幸せを
 しみみ感じることでよかった（佐倉キコ）
 世界での出来事を取り入れた学習の成果だと思います）
 この平和の毎日をこれからつづけていこう一人一人が
 何か出来るか、これから子供たちに伝えていきたいと思います

私自身も久しぶりに戦争の話に耳を傾けて頂いたので
 当時の状況と比べ、私を含め当時と比べると
 何不自由なく過ごしている現状。
 なにげなく過ごしている平和な毎日は
 すごく幸せだということ、感じる事が子どもたち
 保護者にとっても大切なことだと思います。

戦争というものが本当に怖ろしいという気持ちになりました。
 とても遠い物に感じられ、このような学習を通して戦争を
 再認識させられる貴重な学習であったと思います。
 戦争によって何が犠牲になり、何が損なわれたのか、
 今一度よく考えてみる必要かと思いました。

- ・当時の、この時期、戦いは、まだ戦争はなかった
 非常な苦痛であった。
- ・日本が何故、侵略をしたのか、侵略は、なぜ必要だったのか
 内閣府も、歴史を学ぶ、歴史を学ぶ、歴史を学ぶ、歴史を学ぶ
 ことではない。
- ・当時の、この時期、戦争は、本当に怖ろしいものだと感じました。
 今の時代、戦争は、本当に怖ろしいものだと感じました。
 今の時代、戦争は、本当に怖ろしいものだと感じました。

戦争は、本当に怖ろしいものだと感じました。
 戦争は、本当に怖ろしいものだと感じました。
 戦争は、本当に怖ろしいものだと感じました。
 戦争は、本当に怖ろしいものだと感じました。

今も戦争をしている国が少なく、軍が最近に少く国に少く
 少し解決できないと思います。（日本はどうして平和でいるのか）
 戦争には、必ずしも時間と犠牲は、とても重要で、長い時間だ、と、思っています。

でも、今、子供たちから聞いている、国は、本当に怖ろしいものだと感じました。
 戦争は、本当に怖ろしいものだと感じました。
 戦争は、本当に怖ろしいものだと感じました。
 戦争は、本当に怖ろしいものだと感じました。

戦争入る前の自分のことを考える時期にとりあえず、この時期、戦争は、本当に怖ろしいものだと感じました。
 戦争は、本当に怖ろしいものだと感じました。
 戦争は、本当に怖ろしいものだと感じました。
 戦争は、本当に怖ろしいものだと感じました。

戦争が一番に怖い（怖いのは、日本が敗北したのにも関わらず、現在このように変化した環境にあるのは、憲法がかわっているからです。大日本帝国憲法の下では、今では当然とされている基本的人権も認められていないことが、アメリカから押しつけられた憲法だと言う人もいますが、日本国憲法は世界中でもっとも先進的な憲法だと言われています。戦争に巻き込まれる必要がなければ、日本は経済発展を遂げることができたと、表現の自由、平等が認められたからと、子供たちは今楽しんでいる YouTube 等も存在しています。今、私達に自由があるのは、戦争で犠牲になった多くの人のおかげであるという観点から、この時代の歴史学習には、必要だと感じています。

地域の実体験に基づく戦争の学習は、効果的だと感じた。

今の自由は、戦争で犠牲になった多くの人々のおかげであるという観点が重要だと感じた。

今回の学習を通して、戦争の歴史を学ぶことが、子供たちの成長に必要だと感じた。

資料10 仮説1, 仮説2の手立てにおける児童の変容
～事前から事後のアンケートを通して～

<仮説1における知識の獲得の変化～人数から～>

戦争の名称

- ・日清戦争…21名
- ・日露戦争…21名
- ・第二次世界大戦…6名
- ・太平洋戦争…4名
- ・第一次世界大戦…4名
- ・関ヶ原の合戦など…3名
- ・日中戦争
- ・沖縄戦

戦争の行動

- ・アドルフ・ヒトラー…3名
- ・ポツダム宣言…2名
- ・空襲
- ・原爆
- ・特攻

戦争の被害

- ・たくさんの方が死んだ…6名
- ・植民地…2名
- ・原爆ドーム
- ・犠牲者がたくさん出た
- ・食糧不足
- ・悲しい、辛い、悲惨、よいことがない、残酷
- ・賠償金
- ・収容所

戦時中の名々のくらし

- ・配給…2名
- ・はだしのゲン…2名
- ・防空壕
- ・疎開

戦争の名称

- ・日中戦争…20名
- ・太平洋戦争…18名
- ・沖縄戦…16名
- ・第二次世界大戦…10名
- ・満州事変…8名
- ・日露戦争…2名
- ・本土決戦…2名
- ・第一次世界大戦, 日清戦争…各1名

戦争の行動

- ・原子爆弾…22名
- ・空襲…16名
- ・ポツダム宣言…8名
- ・東京大空襲, 中国残留孤児…各4名
- ・沖縄占領, 国際連盟脱退, 戦時体制…各3名
- ・三国同盟…2名
- ・満州国の建国…1名

戦争の被害

- ・子どもでも巻き込まれた…14名
- ・たくさんの方が亡くなった…9名
- ・生活必需品や金属類の供出, 貧しくなる…各5名
- ・生活が厳しい, 国民200万人, 兵士100万人の戦死者…各4名
- ・レイテ島での佐倉連隊の全滅…各3名
- ・佐倉も危険だった, 食料不足…各2名
- ・ユダヤ人虐殺, 賠償金, 佐倉駅の空襲被害, 唯一の被爆国, 沖縄戦では県民の五分の一人の方が亡くなる, 各1名

戦時中の名々のくらし

- ・配給…14名
- ・学徒出陣…10名
- ・軍事訓練への参加…9名
- ・疎開…8名
- ・切符制度, 娯楽や遊びも戦争を扱うものになった…各7名
- ・赤紙…6名
- ・軍需工場への動員…5名
- ・賛沢できない…4名
- ・国のために戦う・働く, 運動会禁止, 松根油などの代用品…各2名
- ・徴兵制, 価格の統制…各1名

<戦争に対するイメージの変化>

	事前	事後
1	よくない、こわい、大変、苦勞、危険、やってほしくない	たくさんの苦勞や厳しさがあリ、多くの方々も亡くなり、もう二度とおこつてほしくない戦い
2	危なくてこわいイメージ。	戦争はものすごくあぶなくて、まずしいなかすごしてきたんだと思った。
3	たくさんの人が亡くなった。	戦争はたくさんの人が亡くなったことがわかり、絶対にもう起こしてはいけないと思った。
4	国のために戦い死ぬ。全ての国民が戦争のために行動する。	人の命もたくさんの物も全て消えてしまう、やってはいけないこと。
5	関係のない人が殺されてしまう。こわい、ころしあい	自分の国を広げるための争い。国どうしのけんか。
6	空しゅうをうけた広島、殺し合い、ばく発	もうすぎたことだから仕方ないけど、もう二度とおきてほしくないと思いました。
7	こわいイメージ、かくばくだん、いみがない、戦争にでてる人がかわいそうってイメージ	つらいことで、人がどんどん亡くなっていくこと。まずしい人がたくさんいる。
8	武器、キムさん、意味がない	被害を受けたところはとても大変で、今と全然ちがう。とてもかわいそう。
9	大勢の人々の命を巻きこみ、失わせてしまう恐ろしいイメージ	もう二度としてはいけない、危険なもの。
10	戦争は、おそろしくて、こわい。	私は戦争は、こわいものだと思っていましたが、正しい戦争などもあることが分かった。人々が戦争に行く人達のためにはたらいっていることがわかりました。人々はまずしいくらしをしていました。
11	こわい、ころし合い、権力争い	戦争は危険。多くの犠牲者が出る。
12	とちのうばいあい、ひさんなことしか生まない。	むじひなもの。人と人でころしあつてもなにもうまない。
13	戦い	戦争をしても、なにも手に入らないし、人々が亡くなってしまふ。
14	きけん、こわい、死人がでる	こわいし多くの人が死んじやって戦争が終わったあとでも、そのこわれたたてものをなおしたりするのも3年ぐらいかかるからおきてほしくない。
15	たくさんの人がかかわり、なくなり、とてもかなしいイメージがあります。	前まではこわいしと思わなかったけど、いろんないみでやっているんだなと知りました。
16	ころしあい、ばくだん	戦争はとてもこわいけど国のためにしていることなんだな〜って思った。
17	こわい、ころしあい	こわい、苦しい、多くの方が亡くなり、今も多くの人が原爆で受けた放射線になやんでいること。
18	たたかうイメージ	戦争は、つらいんだな〜と受け止めました。
19	人殺し	死んだ人がいっぱいいた。食事あんまりもらえなかった。
20	殺し合い	昔の人は、く勞して工場で働いたり、食べ物もろくな物を食べてないからつらいと思って受けた。

21	罪のない人達が死んでいく、つらい、悲しい、マイナスなイメージ	とてもつらいもの、兵士に20才以上になったらなる事や、すべて軍が優先され、まだ戦争をよく分らないような小さい子もがまんして協力する。
22	目的	厄災
23	殺し合い、原爆、軍隊	国同士のけんか。怖いし、なんで戦争したんだろうな～って
24	人が死ぬってかんじ。ヒトラーがユダヤ人をころした事。	ひさんなもの。人が死ぬ。
25	武器、戦い	せんそうでおかねをとるのではなく、はたらいとるほうがよほどいい。
26	ほのうなど、「火の海」って感じがする。	つらい中、国のために自分をぎせいにしてまで戦ってくれてありがたい。
27	全てをこわす	悲しくてひさんな物。
28	「戦い」「死とう」国どりなど	国のために仕方なくやったところもあるんだと感じた。
29	殺すこと	せんそうは危なくてとてもかこくでいるいるな人にひがいがおよぶし、たくさんの人が死んでしまう国と国のけんか
30	1番最初に頭に浮かぶのは「原爆ドーム」	絶対に起こしてはならない、二度と。
31	人がたくさんころされてしまう。かなしい。人がケガをする。ひさん、ひどい。	一度やったら取り返しのつかないこと。世界や地球がぶっこわれる。たくさんの人が死ぬ。ざんこく。

<自分の考えをもつ評価基準に即した1人1人の児童の評価>

評価	内容	文例
S	その先を考える	～をつたえる。
A	具体的なことを考える	～しないようにする、～していく(今できること)
B	抽象的でも自分の考えをもつ	～していく
C	根拠や理由はないが考えをもっている	～を知る、使える(知識)
D	考えをもていない	記述なし

・社会科の学習で学んだことでこれから生かせることはどんなことですか。

	事前	評価	事後	評価
1	とくにない	D	今こうして平和にくらしていることのありがたさが分かったから、 もっとこの日常を大切にしよう と思います。	A
2	中学や高校で生かせる。歴史の人物。	C	今は平和な日本だから 食べ物を好きに食べさせず、少しでも人を助けたりしていきたい と思いました。	A
3	ない	D	ぼく一人が変わるようなことじゃないかもしれないけれど、 もっと平和な世界にしていきたい 。	B

4	戦争はもうしないで平和な世界にしていきたい。	B	平和な時代が続くようにしていきたい。	B
5	あると思います。	D	今自分が 生きていること に かんしゃ して日々をすごしていきたいと思います。	A
6	あると思う	D	戦争の時代に生まれてきた人みたいに おまひお金のむだ使い を しない と思いました。	A
7	中学校でいかせる	C	たべものをすまじ したいし ない 、 すぐに花札とかいらないよ に しよう と思った。	A
8	中学校で生かせる	C	暴力で解決 しない、 人の悪口を言 わない。	A
9	(日清・日露)戦争が多くの被害を出したのだから、 もう二度と戦争を起してはならない というこ	B	平和のための努力 をしていこうと思った。	B
10	今平和でいることにかんしゃし、 喜んでいる人が	A	今こうして平和にくらしているのは、ありがたいこと。 きぼうし	A
11	ある	D	戦争が起きそうになったら 反対 していこうと思います。	A
12	未来の日本を考える	B	これから「戦争はしない」というのは大きすぎるので、 争わない	A
13	はい	D	せんそうはもう1回はしめるものではなく、 平화를たもなつづけ	B
14	これからは戦争をしない世の中 にしたい。	B	平和な世界 にしていきたい。	B
15	昔あったことを学んで行動したり する。	B	戦争が起こらないようにするのはむりそうだから 戦争がどれだ	S
16	戦争のことをいろいろ調べたいし、おはあちゃん	C	命を大切に して、 けんか などもなくしたいと思います。亡くなる	A
17	とくにない	D	国のためにたたかってくれた人たちに 感謝 の 気持ち をこめて	A
18	あります	D	知らない人に知ってもらうように、 話す 。	S
19	あります。いろいろなアイデアはだしているの	C	このじん生 をたいせつにしたいと思います。	B
20	じょうりょう をたいせつにする。	A	食べ物 を大切に あつか う。	A
21	武器の かさこよさ	C	城とかをみてもっと 歴史 を知る。	C
22	日本でどんなことがあったか しっておくと 、 ニュー	C	戦争のつらさとか、当時の人が苦しかった事を伝えて、戦争	S
23	今の社会の苦勞 していること や大変な ことをよく	B	世界を一つにまとめる。そうして、戦争をおこさないようにす	B
24	記述なし	D	人を大切にしていきたい。 差別 などを しない 、 人の	A
25	とくになし	D	おがま まが、 3つ いたくばちよとやめようか な と思う。	A
26	ある	D	じん をたいせつにする	A
27	ある	D	食べ物なども せい やくを しない で、 金 を 遣 う た い する 。	A

28	生活やこれからあと二十年くらいまでの仕事にいかせるようにしたい。	B	自分が知ったことを伝えていきたい。	S
29	ある	D	みんなと争いことをなるべく避けること	A
30	小村孝太郎→あきらめないこと、 藤原定成→色々と自身の非と反省が大切。	A	少なくとも、自分たちのいる間は、止めていきたい	B
31	二度とそのようなことがおきないように、大人になったらいろんな人につたえる。	S	死ねばいいけど、かえりなく死んでほしい。	A

戦争について深く学ぶことや、学習協力者の話、学習発表会での発信により、小さなことであるが、今の自分にできることをより具体的に考えることができた。

評価 B と C の児童が 9 名残ってしまった。そうした児童には、自分戦争の学習を自分たちの今の生活と置き換えて考える学習を取り入れたり、今でも名残ある場所を学区内で探したり、そこに触れたりする手立てを講じることも有効だと考える

「歴史は何のために学ぶと思いますか」

	事前	前	事後	後
1	今こうして生きられている大切さを知るため。	B	昔にいろいろな方々が苦勞をして日本を築いてきたからこそ、今があることを伝えていくため。	S
2	これから生きていくために必要だから。	B	これからの社会で生きていくために必要だから、人物を詳しく知るため。	B
3	昔何があったかを知るため。	C	日本や、他の国では昔何があったのかを知るため。	C
4	日本が普行っていたことを知り、今後に生かすため。	B	今までやってきた人の良い所は続けて、悪いところはやめて、今後の生活につなげるため。	A
5	次の人々へ受け継ぐため。	S	その時の人々の思いを次の人に受け継ぐため	S
6	昔と今を比べて、どのくらい日本や世界が変わったかを知り、今に生きている喜びを感じるため。	A	今後どのように自分たちが生きていくのかを決めるため。	A
7	今までどんなことが起きたかよく知るため。	C	昔どのようなことがあったか、人として知っておかないといけないことだから。	C
8	過去に何があったかを知るため。	C	昔のことで何があったとか、ここはどのような場所かを学ぶため。それを後の人に伝えるため。	S
9	過去に何があったかを知るため。	C	けんかや争いなどをなくすため。	A
10	昔のことを学び、それを今に生かすため。	B	温故知新。昔のことを知って、今についてのこと考えるため。	A
11	戦争や恐ろしいことがあって、もう二度としないように。日本に、こんなにすごい人がいたことを知るため。	B	自分の国ではどんなことがあったかを知るため。今こうして平和にできているのは、当たり前ではないということ、この国日本に、何年前にどんなことがあったかを、日本人として学ばなければならない。	A

12	昔に何がおきたかを知るため。	C	昔の出来事をみんなが知って、みんな嫌なことがあったのだと知ることで、そういう悪いことは二度と起こさないと考えるため。	A
13	日本を知るため。	C	自分の国の歴史をわかっていないといけないから。	C
14	過去を知らないで未来は考えられないから、過去に何があったかを知り、良いことと良くないことの区別を身につけるため。	B	世界の人や後世の人に伝えないといけない大切なことだから。	S
15	これから生きていくのに生かすため。	B	昔のことを取り入れて、良い未来を創るため。	A
16	昔に何があったかを学んで、今では昔みたいに戦争などを起こさないため。	B	昔あった間違いを、繰り返さないため。	A
17	今とは違ういるいるな昔を知るため。その学習を通して、どう感じるか、なぜ考えるため。	B	昔と今の違いを知るため。	C
18	昔に何があったかを知るため。	C	自分の住んでいる国の歴史を振り返ることで、もっと人々を大切にすることができるから。	A
19	昔の苦労や出来事などを知るため。	C	昔にあったことを伝えていくため。	S
20	昔の人が活躍をいっはしていたことを知るため。	C	昔の発想を未来につなげるため。	B
21	過去にはこんな苦労があったことを知るため。	C	昔、何があったかを知るため。	C
22	昔にあったことを学び、同じことをまた繰り返さないようにするため。	B	過去の失敗を繰り返さないように、繰り返させないように、教えていくため。	S
23	なぜ日本はこのようなことになり、このような今になったのかをよく知り、歴史、自分がしなげればならないことを考えられる子を育てるため。	B	現代だけに染まるのではなく、昔の苦しみ人や風習等を知り、伝統を受け継いでいくため。	S
24	無回答	D	過去の出来事について、知らせていくため。	S
25	過去に何があったかを知るため。	C	過去を振り返るため。	C
26	昔を知るため。	C	歴史を知り、社会に役立てるため。	B
27	世界のことを知るため。	C	自分たちが生きていく国だから、もっと国を知るため。	C
28	日本の文化などを知るため。	C	昔の人の気持ちをj知るため。	C
29	夜倉についてもっと知るため。	C	もし、戦争になったときに、どう対処するかなどに必要だから。	A
30	過去のいろいろな人々の成りや失敗経験を学ぶため。	B	過去があるから今がある。全部つながっているということを知るため。	B
31	後の世に同じことが起きないように、後の世に伝えられるようにするため。	S	後世にいろいろなことを伝えるため。	S

戦争について深く学ぶことや、学習協力者の話、学習発表会での発信により、「後世に伝える」「昔の人の思いをくみ、次につなげる」など歴史を学ぶ意義である、昔のことから、今、先のことを考える児童も増えた。

<B児>

B児は、学習意欲は高いが、学習全般において少し苦手意識をもっている児童である。事前アンケートでは、戦争に対するイメージが、「たたかうイメージ」となっていた。また、「歴史はなんのために学ぶと思いますか」では、昔の人のことを未来につなげるために学習すること。「社会科の学習で学んだことでこれから生かせることはありますか」では、参考にしたいという漠然とした考えから、人生を大切にしたいと今できる自分の考えをもつようになった。

人々の暮らしを地域の資料を通して調べたときに、戦争の大変さや今自分が生きていることに幸せを感じ事後アンケートでは、戦争のつらいイメージから、自分の考えをもつことができるようになった。

歴史はなんのために学ぶのか

学習で生かせること

昔の人がかかつたことを思い出して、今を大切にしたいです。

あります。いろいろなアイデアはたくさんあります。

戦争中の人々の暮らしを資料や友達との話し合い、学習協力者との対話を通して、ひいおばあちゃんとかかわりや、自分が今生きていることの幸せを感じ、歴史学習の意義や、自分の生活に生かそうとするようになった。

これから幸せなことをおぼえながら生きていきたいです。

昔の人は、それを未来につなげるため。

このじかんを大切にしたいです。

【参考文献・資料】

- 文部科学省、「小学校学習指導要領解説 社会編」 平成29年
- リン・ハント、「なぜ歴史を学ぶのか」、岩波書店 令和元年
- 佐倉市立和田公民館、「『忘れ得ぬ記憶』～戦争と和田村～記録集」 平成28年
- 佐倉市広報課、「平和祈念・戦争体験文集 『語り継ぐ記憶』」 平成9年